



# 「やさしい日本語」× ユニバーサルデザインを社会に広げたい 株式会社ダンク

## 「やさしい日本語プロジェクト」 の立ち上げ



株式会社ダンクは、1994年に広告校正・校閲のプロフェッショナル集団としてスタートし、様々な分野の広告編集を手掛けてきました。現在、編集やデザインのもつ「分かりやすく伝える力」と「やさしい日本語」を活かしてサービスを提供しています。ダンクの皆さんが取り組む「やさしい日本語プロジェクト」についてお聞きしました。



左から、株式会社ダンクでやさしい日本語プロジェクトのメンバーとして活動する、田中さん、森さん、桑嶋さん。

ダンクがやさしい日本語と出会ったのは、お客さまから「やさしい日本語で編集をお願いしますか？」と問い合わせを受けたことが始まりでした。

当時は知識がなく、お断りをしましたが、やさしい日本語を調べていくうちに、編集のあり方や、多様な情報発信の手段につながる興味深いテーマだと確信しました。

編集では「分かりにくいものを分かりやすくする」伝え方を大切にします。やさしい日本語はその方針と親和性があると感じたのです。

世の中の媒体は、紙面でもWEBサイトでも、伝えるためになるべく多くの情報を詰め込みがちです。やさしい日本語はその逆。情報を絞り込み、シンプルにすることで分かりやすく伝えます。

いかに分かってもらおうかという点では、ダンクが得意とする編集、デザインの本質と同じです。

こうしてやさしい日本語プロジェクトが新しい事業として立ち上がりました。

## 「やさしい日本語」×ユニバーサルデザインで よりわかりやすく



やさしい日本語プロジェクトは、初めのうちは試行錯誤が続きました。やさしい日本語は、機械的に書き換えるだけではうまくいきません。また、あれもこれも伝えようと情報を多くしても分かりづらくなってしまいます。

言葉を削るのは勇気がいる作業です。少ない文字や文章で伝わるように編集する必要があります。

重要なのは、語彙も文法もシンプルにした文章と理解を助けるイラストとのバランス、認識しやすく情報に強弱をつけた配置です。そして、伝えたい情報と利用者が知りたい情報を的確に理解することが重要だということも分かってきました。

やさしい日本語を用いたデザインは、誰もが理解できる状態を目指す「ユニバーサルデザイン」の本質といえます。

やさしい日本語による編集が形になったものの一つに、NHK放送博物館のコインロッカーと傘立ての利用案内があります。

導入を進めたNHK放送文化研究所の富樫さんにお話を伺いました。

「博物館では、外国人はもとより日本のお年寄りや子どもにも分かりやすいユニバーサルデザインを目指し、やさしい日本語を館内の表示に取り入れようと考えていました。その手始めとして、まずはコインロッカーと傘立ての使い方を分かりやすくしてみようとデザインを依頼したのです。

館内でイベントを企画・運営する担当者などが『この表示のしかたはおもしろい』と興味をもたれるなど、認知が広がっていくのを感じます。やさしい日本語が自然と目に入るよう館内の展示物にも工夫していきたいです」

(NHK放送文化研究所 富樫さん)

現在はコロナ禍で来館者を制限しているため、本格的な使用はこれからですが、周囲の反応は上々です。

## 原文

### コインロッカーのご利用について

- 1 使用時間 午前9時30分～午後4時30分  
使用時間を超過しますと、その後は所定の措置をとらせていただきます。
  - 2 使用料金 無料  
使用時に100円硬貨を入れてください。  
使用後に返却されます。  
Insert a 100-yen coin, which will be returned after use.
  - 3 使用方法  
扉を開け、物品を収納した後、規定料金を入れて施設し、その鍵は使用者が保管していただきます。
  - 4 キー（鍵）を紛失した場合  
万一、キー（鍵）を紛失された場合は、鍵の制作実費をご負担いただきます。
  - 5 収納できないもの  
・爆発物等の危険物  
・ロッカーを汚したり、壊すおそれのあるもの  
・不潔なもの、臭気を発するもの、腐敗変質しやすいもの  
・貴重品（貴重品等の盗難のおそれのあるものは、身につけてご見学ください。当館は保証いたしません。）
- ※収納できないものを入れた場合の処理  
・使用期間中・使用期間経過後の保管期間中において、その物品が第5項目(収納できないもの)に該当するものであることがわかり、また、その疑いがあるときは、当館において所定の措置をとらせていただきます。

## ダンク作成

必要な お金 100

荷物を出すとき お金が 戻ります

荷物を 入れるとき

- 1 扉を開けて、荷物を 入れて ください。
- 2 100円を 入れて ください。
- 3 扉を 閉めて、鍵を 回して ください。

鍵を なくさないように 持っていて ください。  
鍵が なく なくなったら、お金が 必要です。

荷物を 出すとき

- 1 鍵を 回して、扉を 開けて ください。
- 2 100円が 戻ります。
- 3 荷物を 出して ください。

「大切なもの」「危ないもの」「怖いもの」「生きているもの」は 入れないで ください。  
入れたものが 無くなっても、返すことが できません。

コインロッカーの使用法をやさしい日本語を用いてデザインした例。次にすべきことがイラストで分かりやすく示されていて、文字も極力使用していないことが分かります。

できるだけ簡単な言葉に絞り、使う際の手順をイラストにして直感的に分かるようにしました。注意が必要なところは強調し、ロッカーから離れたところに掲示していた利用案内はシールにしてロッカーの扉に貼り、自然と目線がいくように配置も工夫しました。

## 「やさしい日本語」を コミュニケーションのインフラに

作り手がどれだけ一生懸命でも、実際にエンドユーザーが理解できていなければ意味がありません。そこで、これまでにやさしい日本語を使ってデザインしたものを外国人に見てもらい、理解できるか確認を行いました。また、併せて日常で分かりづらいつ感じる表現やコミュニケーションをするうえで困っていることなどもヒアリングしました。

「やさしい日本語は概ね理解しやすい」という結果になりました。ただ、文化や考え方、価値観の違いから、人によって表現の捉え方は色々だということも見えてきました。

例えば、「服用」という言葉は熟語で理解できず、「服」という漢字に引きずられて薬を飲む意味だと連想できない。「ポイ捨てる」の「ポイ」などの擬音語が分からない。このような外国人にとって分かりづらい言葉はイラストやデザインで補うべきだと分かってきました。

### 一般的な日本語

もよ  
最寄り



【わかった外国人】……1人/5人中

「も」（接頭語）という聞き慣れない言葉が入ることで、わかりにくくなりました。

⇒慣用的に使われている日本語表現が難解

### やさしい日本語

いちばん ちか  
一番 近い



【わかった外国人】……4人/5人中

「も」が「一番」という、聞き慣れた言葉に言い換えられたことで、理解することができたようです。

実際に外国人にヒアリングをした結果、熟語は難解であることが分かった一例。「最寄り」という単語の「最」は外国の方には聞き慣れないため、「一番」という聞き慣れた言葉に言い換えを行います。



言葉の問題の先には生活習慣・文化の問題があります。ヒアリングを通して感じたのは、時間感覚の違いなど、考え方や価値観の違いを感じる点が多くあったことです。

やさしい日本語は、言語ツールであると同時に、相手の文化や考え方に対する理解を深めるという重要な役割を果たしています。

## 「やさしい日本語」の可能性を広げて

ダンクにとってやさしい日本語は、日本人がすぐに始められる多言語対応のツールであり、事業戦略としても広がっていく価値があるものだと思います。

ダンクでは、やさしい日本語のセミナーを開き、やさしい日本語の背景や必要性、具体的にどのようなものにすればよいのかなど、基本的な考え方について、活用事例（書き方の事例）を交えて伝える取組も始めています。

「やさしい日本語はもはやコミュニケーションのインフラです。外国の人たちから『やさしい日本語をお願いします』と指定されるような、第2の言語になってほしいと考えています。

やさしい日本語には正解がないと言われるが、伝わることが答え。これからも、テキスト・イラスト・配置と、ユニバーサルデザインでやさしい日本語をカスタマイズし、伝わるツールとして社会に広げていきたい」（森さん）

## ダンクの「やさしい日本語」での編集例

ダンクの特徴である図解やイラストを多用することで、粗大ゴミの出し方をやさしい日本語化した例。直感的に行動できるようになっています。



### 編集のポイント

- ① 難しい言葉を簡単に
- ② 1文を短くして構造を簡単に
- ③ 文末表現はなるべく統一
- ④ イラスト・図解を使用し、わかりやすく
- ⑤ 読みやすいように文節で間を区切る（分かち書き）

ダンク ホームページ

<https://www.dank-yasanichi.jp/>

【取材日：2021年2月2日】

